

会 議 録

会議の名称	第8回（仮称）茨木市地域コミュニティ基本指針検討委員会
開催日時	平成24年3月22日（木） （午前・午後） 4時 開会 （午前・午後） 5時 閉会
開催場所	市民総合センター 203号室
議長	齋藤雅通氏（立命館大学経営学部教授）
出席者	齋藤雅通氏（立命館大学経営学部教授）、阿部圭宏氏（市民活動・NPOコーディネーター）、山口正弘氏（茨木市自治会連合会会長）、香川とく子氏（自治会長） 秋元文孝氏（公民館長連絡協議会会長）、池上日出雄氏（豊川コミュニティセンター管理運営委員会委員長）、浜野宏樹氏（青少年健全育成運動協議会会長連絡会会長）、森下恭子氏（水尾地区福祉委員会委員長）、岡野清幸氏（公募委員）、上村智子氏（公募委員）（10人）
欠席者	（0人）
事務局職員	野村市長、大西市民生活部長、原田市民活動推進課長、青木市民活動推進課長代理、福岡市民活動推進課職員、有限会社コラボねっと中西（6人）
議題（案件）	(1)最終報告の提出について (2)その他
配布資料	・第8回（仮称）茨木市地域コミュニティ基本指針検討委員会次第 ・（仮称）茨木市地域コミュニティ基本指針検討委員会検討結果報告

議事の経過

青木 皆さんこんにちは。定刻となりましたので、始めさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてまことにありがとうございます。ただ今より第8回目の(仮称)茨木市地域コミュニティ基本指針検討委員会を開催させていただきます。

まず初めに、齋藤委員長よりご挨拶をお願い申し上げます。

委員長 皆さん、こんにちは。齋藤でございます。3月も半ばを過ぎ、春らしくなってきましたが、皆様方お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて今回、8回目になります。最終の委員会ということになるかと思えます。最終の報告案を皆様方に今日ご確認いただき、市長への提出といたしたいと考えております。よろしくようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

青木 ありがとうございます。引き続き、議事の進行もよろしくお願いいたします。

委員長 それでは議事に入っていきたいと思えます。まず傍聴ですが、本日は3名の方の傍聴を認めております。よろしくお願いいたします。それでは前回の開催から少し経過しておりますことから、前回の振り返りと本日までの経過について事務局から説明をお願いいたします。

青木 それでは前回の振り返りとこれまでの経過についてご説明申し上げます。前回、第7回目でございますが、2月23日(木)に開催させていただきました。協議事項といたしましては、第1～6回目までの振り返り、まとめについてご協議をいただいたところでございます。

その後、ご意見を頂戴しました部分につきまして、加筆修正等をさせていただきます、3月12日(月)付で今回の報告案をご送付させていただきます、16日(金)までにご意見をいただくかたちでお願いをいたしました。また、会議録につきましても同日に送付させていただきます、ご意見をいただき、22日(木)にホームページ等に掲載させていただいたところでございます。

前回の振り返り、これまでの経過につきましては以上でございます。

委員長 ありがとうございます。事務局から説明がございましたが、何かご質問・ご意見等はございますか。なければ報告事項、(1)の最終報告の提出について、事務局から説明をお願いいたします。

今回の資料につきましては、今の説明にありましたように、前回の議論を反映したものを3月12日に皆様方にご送付いただいております。それに対する意見等の反映を中心に説明いただき、これを最終報告案としたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

青木 それでは報告事項ということでご説明をさせていただきます。また、内容の前に、今般、ご通知文には報告事項、その他ということしか書いてございませんでしたので、次第の流れを少しご説明させていただきます。その後、内容の変更事項等について

ご説明させていただきます。

開会をいたしまして、委員長の挨拶を頂戴いたしました。それから、報告ということで、今回の検討結果報告についてご確認をしていただきます。その後、それを市長に齋藤委員長からご提出をいただき、市長からご挨拶をさせていただきます。その後、閉会という流れに今回はさせていただきます。

それでは報告事項のご説明をさせていただきます。

まず 14 頁をお開きください。前回、ご指摘いただいたのがこの地域自治組織のイメージ図です。地域には学校や幼稚園、保育所等々があるのではないかという意見を頂戴いたしましたので、点線の中に構成団体の例として、学校、園、NPO、事業所ということをつけ加えさせていただきます。

加えて、副委員長からこの組織図がもっとイメージできるものにしてはどうかというご意見を頂戴いたしました。どこの市の部分がいいのか、まだよく共有できていませんでしたので、策定に当たっては他市の事例でオーソドックスのところをつけ加えさせていただこうと思っております。今回は他市の事例というのはここにはございませんけれども、策定の時にはその形に入れさせていただきますいなと思っております。

16 頁、中ほどでございます。NPO、ボランティア団体等の連携というところでございます。地縁の組織と NPO 等の中間支援組織的なものを記述してはどうかという意見でございました。現状、そういう組織が考えられるのは市民活動推進課、あるいは市民活動センターになると思われまますので、「市民活動推進課もしくは市民活動センターがそれぞれの組織間の連携を図る調整役を担います」ということで言葉を追加させていただきます。

次に 17 頁でございます。(3)事業所等の連携ということで、CSR の記述や防災関係でのつながりを記述してはどうかというご意見がございましたので、その部分の文言を追加しております。2 行目に、「昨今では企業の社会貢献活動である CSR をはじめとして地域社会とのつながりを・・・」というかたちで追加させていただきました。

また、「災害時対応の充実化を図るため、日常から地域と事業所との連携のための関係作りを進める動きが広がっています」というかたちで、地域と事業所との関わり合いについて、防災関連も含めた文言を入れさせていただきます。

最後になりますが、これは検討委員会からの報告書ということですので、可能な限り「検討します」という言葉は言い切りのかたちにしてはどうかという意見でしたので、可能なかぎり、「推進します」とか、「～します」という言葉に変えさせていただきます。

ここまでは前回のご意見の反映を中心にご説明をさせていただきました。その後、送らせていただいて、若干「てにをは」ですとか、誤字脱字等も含めて少し修正させていただきます。

昨日、ご意見を頂戴した部分もありますが、それについては本日の委員会に少し間に合

わなかった部分があります。拝見させていただいて、策定時には、考慮させていただきたいと思っております。中身的には以上ですが、市としまして、今回のこれを最終の検討結果報告とさせていただきたいと考えております。

その後のスケジュールといたしましては、今回、この検討結果報告を頂戴いたしまして、年度明けに庁内の検討組織で検討を加え、パブリックコメントを経まして、平成 24 年度早期には策定したいと考えております。今回の報告事項については以上でございます。

委員長 ありがとうございます。既にこれまで相当の議論が重ねられ、皆様方のご意見や思いを反映させていただいたものであると考えております。この報告を委員会の報告としていきたいと考えておりますが、皆様よろしいでしょうか。それではこの報告を持ちまして市長に提出いたしたいと思えます。細かなところの修正は別途することにしたしまして、基本的にはこれをもって市長に提出いたしたいと思えます。その他、説明がありましたスケジュール等に関しまして何かご意見はございますでしょうか。

D 委員 少し聞きづらかったのですが、24 年度後期とおっしゃいましたか。

青木 早期です。申し訳ございません。

D 委員 我々一生懸命にやってきて、これが絵に描いた餅にならないようにしていただきたいという気持ちでいっぱいです。ぱっと見まして、もう少し見出しがはっきりしたほうが見やすいのではないかなという気がいたします。

青木 策定の段にあたっては例えばポイント数を大きくするとか、視覚面でも工夫させていただいて、市民どなたでもわかりやすいかたちにさせていただきたいと思っております。

委員長 ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

C 委員 庁内の検討委員会は既にできているのですか。

青木 まだできておりません。

C 委員 これから作られてこれを掛けられるのですね。それで 24 年度早期に作るという段ですね。

副委員長 かなり積極的に書いていただいていたよかったですかなと思っております。これとは別に、来年度のコミュニティ政策、予算化されていてご紹介できるような事業等があれば言っただけのほうがいいかなと思えます。

青木 コミュニティ施策で毎年度、地域担当職員制度のサポートということで、お見えになっていただいているコラボねっとさんと一緒に地域に出させていただいたりという

予算化は平成 24 年度も引き続いて行っております。新たな部分につきましては今年度、市長選が 4 月 8 日に行われますので、おそらく 6 月の補正予算で新たな施策が出てようかと思っております。その辺りは具体的などころに至っていないのが現状でございます。

自治会、地域担当職員、これまで進めているコミュニティ施策を継続的に進める予算化は計上しております。新たな部分については少しまだ見えていない部分があるのかなと思っております。この報告案も当然、策定していくことになるかと思っております。その部分の予算化は 6 月の補正予算になるのかなと思っております。以上でございます。

F 委員 各自治会に下ろされますか。具体的にはどういうふうにされますか。

青木 今のところ考えておりますのは、今回、出席いただいております各種団体の長の皆さまには直接送付させていただくとか、あるいは各校区で説明会を開くとか、ということを考えております。広報誌にも特集記事ということで、特集記事を掲載させていただいて、「コミュニティ基本指針を策定しました。今後、茨木市のコミュニティとしてはこういう方向性で進んでいきたいと考えています」という巻頭特集記事になるかと思っております。自治会長さんお一人お一人に直接には考えていないのですが、校区のところに投げかけて自治会長さんにもご出席させていただくことを考えています。

F 委員 投げかけると言っても、これがいきなり送られてこられても・・・

青木 よくわかりませんよね。例えば校区ごとに、今回は 小学校区にしようかということであれば、 の各団体の皆さん、プラス自治会の皆さんがメインになるかと思っております。そういう方たちに投げかけてご説明会というかたちが一番いいのではないかなと今のところ考えております。

委員長 他によるしいでしょうか。

H 委員 私は第四次総合計画の審議会委員だったのですね。今度、27 年に第 5 次総合計画というのが開かれますよね。今、市民委員がいろいろされていますよね。

青木 総合計画はまだだと思えます。自治基本条例の市民委員かなと思えます。

H 委員 総合計画の中でも謳っていかねばいけないかなと思えますけども・・・。もう少し具体的なかたちで。

青木 総合計画につきましては自治法が少し改正されまして、今までは必置でしたが、作ることができるという規定になりました。おそらく作ると思うのですけれども、そのあたりも新体制の方向性も含めて、おそらく作るのであれば、コミュニティというのは今までよりもまして大きな部分を占めていくのではないかなと思えます。

H 委員 市長が変わると、先が見えない部分もありますよね。

委員長 他にはよろしいでしょうか。なければこれを提出するということと、スケジュールについても確認をすることができたかと思います。この検討委員会も最後になりますので、どのようなことでも結構でございます。皆様方、一言ずつお話をいただければというふうに思います。

A 委員 私は自治会連合会という立場でございます。一番身近なかたちの会合だと思えます。私がいつも自治会の活動の中で悩んだり、問題が起きているテーマを、ここにおられる大勢の方々と検討できて、有意義な委員会に顔を出させていただいたと喜んでおります。今、茨木市の小学校区で活動をやっているわけですが、私どもの地域は市内では比較的進んでいるというのがありますが、これに沿ったかたちの地域づくりをさかんにやっている途中でございます。それがどうかたちに最終的になるのか、とても不安と疑問を感じています。茨木市にはいろいろな地域性があります。地域ごとにどれだけこのようなものが形づいていけるのか、時間がかかるのではないかと思います。

でも私たちが、私たちの地域で経験しようとしていることは、一步も二歩も今までよりは進んだと思っています。是非、地域でこういうふうに形づくることを望んでおります。ありがとうございます。

C 委員 私は公民館館長連合協議会の代表ということで、1回から8回まで来させていただいたわけでございます。会議については非常によかったのではないかなと私なりに思っています。特に公民館については、今の時代の流れとして、従来は公民館を中心として、地域の拠点の場所として活躍されていたと。そのような指導をしてきておりましたので、ここからはコミセンという、コミュニティセンター、茨木も既に10以上のコミセンができております。既存の公民館もコミセンに変わっていかうとしています。将来は各校区にある公民館全てがコミセンに変わって行って、これからの地域のまちづくり、地域のいろいろな事業を含めたことはコミセンを中心にやっていく時代ではないかなと痛感しております。私の方も早急にコミセン化に向けて進める準備もしております。そういう時に、こういう会議に出させていただいて、広い意味でコミセンということ私なりにある程度理解もしましたし、そういう意味では今後の地域活動についてより役に立つのではないかというふうに思います。どうもありがとうございました。

D 委員 コミュニティセンターの管理運営委員長連絡会がありまして、そこから派遣をされて参加させていただきましたが、個人的にも非常に勉強になりました。ありがとうございました。

実は私は公民館長を9年間、コミセンの委員長を6年間、その間3年間は両方を兼務していた時代があります。そうしますと、運営委員会のメンバーは大体同じなのですね。「

さん、これはどちらのイベントなん？ なぜ別々にしないといけないの？ なんで一つにならへんの？ わしらだってかなわんわ。」という声がずっとありました。今でもそういう声が 地区ではあります。だから一本にできへんのかな。そういう意味でも、地域で各団体が横断した一つのコミュニティ組織ができることは、私は非常にいいこと

だと思えます。是非やってもらいたいということで、先ほどから絵に描いた餅にならないようにということをやかましく言っているのです。そういう意味で、コミセンという名前も大体定着化してきていますが、公民館は長い歴史がございます。そういうふうな二つが頭にあって、わからないという声が多い状況です。時につけて私も説明するのですけれども、「そんな法的なことを言われても理解ができへんやないか」ということで、同じようなことを言いますが、とにかく地域が一つになった、同時にコミセンが地域の施設になるという方向が望ましいのではないかと考えております。どうも 8 か月間勉強させていただき、ありがとうございました。

B 委員 昨年、自治会長をしておりますご推薦をいただき、参加させていただきました。いろいろ勉強になってよかったと思っております。ありがとうございます。

私たちの校区はとてもよい校区で、コミュニティも大盛況で、土曜日は自転車置き場もないぐらいですし、校区自体も活発ですが、それとは反対に自治会をやめていかれる方も随分多いのです。やめていかれる方をどうするかということが問題で、先日も自治会長の方に少し話をする機会がありました。「我々の校区だけでも自治会に入ってもらえるような決まりというか、校区でそういうことを自治会長さんと話し合っていていただいたら一番早い気がするから、とにかくやめていられないようなことをお願いしたい」ということを言っていたら、「それはなかなか難しいな」とおっしゃっておられました。けれども身近なところからしていかないと、高齢化社会に入ってきます。みんな終の棲家ですと住みたいという希望はあります。我々も 70 代に突入しますので、住みよい茨木にどんだんなり、茨木に住んでよかったなと思える地域になっていたらなと思えます。ありがとうございました。

H 委員 ここ 5 年から 7 年ぐらい、茨木市で大きなプロジェクトが 3 つか 4 つかあり、変わる時期に地域コミュニティ指針ができたらいいかなと思っていたので、私は有意義な会に参加をさせていただき、とてもうれしく思っております。

地域では子育てとか、青少年健全育成とか、見守りというようなかたちの使命があるのですが、それがなかなかうまくいってないかなということもあり、気にはなっていました。指針ができることで、改善されていったらと思います。

東京の立川市で 1 か月も餓死してわからなかったり、やはり地域の関係がすごく希薄になっていて、みんなが誰も地域の人を知らなかったりするというのはどこの市でもあるのではないかなと思っております。是非、みんなでいいまちにしていきたいなと思っております。

G 委員 私は公募というかたちで参加させていただいたのですが、実は事業所の中で環境管理と防災管理を統合して、メインで防災の方を専門として関わっています。これまで環境と言えば、周辺の美化活動とか、いろいろ地域の方々と連携ができていたのですが、防災というところではこの後、発生が予想されているような大規模な地震、そういう時には事業所で何ができるのか。地域の皆さんと一っしょになって共助というところではどういうことができるのか。事業所内でずっと検討をしていたところであります。こういう委員会の公募があるということで、会社から「お前、行ってこい」と言われ、

参加をさせていただきました。事業所として何ができるのかは難しいところがあるかと思いますが、こういうコミュニティを作っていく中での地域の事業所、学校、そういういろいろな団体がどのように連携していけるのか、共助という部分では今後は大事な部分があるかなというところが今回の委員会で少しでも前進できたのかなと感じております。ありがとうございました。

F委員 私は茨木市福祉委員会委員長の中より推薦され、参加させていただきました。今回、こういう地域コミュニティ基本指針検討委員会というのが各地域団体の皆さん方で構成され、市民の方でボランティア精神のある方が参加され、皆さんでいろいろな角度で、まずこういうものを作ろうと思われたこと自体、ありがたく思っています。以前はいろいろな人たちの意見を聞くことは少なかったのではないかなと思うのですが、自分の意見を取り入れていただける機会を作ってください、とてもありがたいと思っております。言いたいことをいっぱい言わせていただきましたけれども、特に自治会のあり方については10年茨木で住んでいるうちに、やはり住民として何とかしなければならぬと感じております。見せていただきましたら、いろいろと細かく書いて下さっていて、これを本当に実行していただけるならば、とてもいい地域ができるのではないかと感じております。

一つ、この前も少し申し上げたのですが、市民が活動するとか、勉強するとかということについてはとてもいいまちづくりをされているなとずっと前から感じておりました。実は、私は企業にも属しております、NPOもしております、一市民でもあります。ボランティアももちろんさせていただいています。市民に対する手厚い、いろいろな活性化の委員会が開かれたりしているのですけれども、実際に茨木市の財政を支えている企業に対してはいったいどのようなことがなされているのか、いつも疑問に感じております。市民というのはやはり経済的には大半が企業によって支えられているわけなので、いわば表面的な、市民としての楽しさ、生きがいに終始してはちょっとという気がしております。ですから、企業さんも茨木市にはたくさんおられるわけで、企業さんもいっしょに地域コミュニティを考えると入れていただかないと、市民活動そのものがうわすべりになるように気がします。ここにいらっしゃる皆さんもかつては企業戦士でおられたのではないかと思います。そこを忘れないで、市民活動推進課の原田さんや青木さんに言うのは少しおかしいのかもしれませんが、一市民としては是非、全体的な視野でもって市民活動そのものを考えていただきたいなというのがあります。

いろいろ勉強させていただきました。ありがとうございました。

E委員 今回、基本指針ができますので、各地域での共通性が多少持たれるかなと思っています。実は私も昨年から自治会の三役をさせていただいて、単位自治会の中がいろいろなことをやり過ぎて忙しすぎるということがありますので、この指針によって多少、校区内ぐらいの整理ができるのではないかなと思っています。今、新年度の自治会の役員を決める段階ですが、そういうところで言っていたら、「なんでこんなに忙しいのですか」とぼそっとしか言えないのですが、新しい方はそう言われます。それに合わせて、健全育成関係、こども会もそうです。昔の行事をそのまま残してずっときていま

すので、増える一方です。それに加えて、子どもが減っている。そうすると役員さんがとても大変になってくるという状況があります。この基本指針をもとに、これが市内全部で共有されれば、それをきっかけに、そちらの整理もできるのではないかと考えています。その時にまたご協力いただきたいなと思っています。

副委員長 いろいろとありがとうございました。長いようで短いようで、皆さん大変だったと思います。私はよそから来て、茨木市の事情を知らないのに毎回、好き勝手なことをお話をさせていただいて申し訳ありませんでした。今日もだいぶ反映していただいて積極的な報告になったのかなと思います。コミュニティ施策というのは自治体にとって基本的なところですが、あらためて参加させていただいて難しいなと思いました。これをまた、実施されるなら、皆さん中心メンバーで関わっていただくことになろうかと思えます。是非、その時はよろしく願いをして、ご挨拶に代えさせていただきます。

委員長 茨木市について最初はまったく存知あげない状況ではございました。茨木というのは自然が非常に豊かですし、歴史的にも文化的にも大変豊かなものをもっている印象はありましたが、なかなか茨木の住民の方がどんな暮らしをしていて、どんなことを考えているのかを知る機会がなかなか無い中で、この委員会に参加させていただきました。私事ではございますが京都に住んでいてもなかなか自治の話は周辺で必ずしも出てこないわけですけれども、茨木では校区単位で、自治会が熱心に、悩みはあるとは思いますがけれども活動をしていて、しかも活動拠点も課題はあったにせよ設けていて、進めていることに本当に感動もいたしました。いっしょにこうして議論し合える機会を作っていただいたことに本当にありがたく思っております。先ほど企業のお話がありましたけれども、15年に大学も進出して茨木に開学しますけれども、決して市あるいは市民の皆さんと別のものではなく、一緒にここで暮らして、あるいは学生が勉学していくこととなりますので、是非自治会の活動をはじめ、地域の様々な活動につながりを持って、市民の一員として大学も、そして学んでいる学生、働いている教職員も一緒に過ごしていけるような、そういうことができるようになったらいいかと思っております。今後、私たちの大学にもこの経験をできるだけ伝えて、よりよい茨木市の自治会、あるいはコミュニティの活動のために、大学の一員としてもこれから様々な形で参加させていただきたいと思えます。本当にどうもありがとうございました。

それでは事務局から、よろしく願いいたします。

青木 皆様、ご挨拶どうもありがとうございました。今後の日程ですが、先ほど申し上げましたとおり、来年度早期の策定でございます。今回様々なご議論をいただきましたので、庁内の検討結果ですとか、パブリックコメントの状況につきましては、年度がこの委員会の区切りになっていきますけれども、逐次皆様方にご報告等はさせていただきますなと思っております。よろしく願いいたします。最後の会議録につきましてもまたご確認していただくために送らせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。以上でございます。

委員長 はい。今の事務局からの説明につきまして、何かご質問等ございますか。

A 委員 パブリックコメントでいろいろなご意見が出てきた場合、それがここに、あるいはプラスされるのか、削除されるのか、それが活かされるのか、私たちもできればお聞かせいただければありがたいなと思います。

青木 パブリックコメントですので、すべての市民に対してですので、委員さんとしてのご意見を寄せていただいたら結構でございます。こういうものがありますけれどもということで投げかけさせていただこうかなと思っております。

委員長 他によろしいでしょうか。

E 委員 実は昨日、出したのですが、今まではまとめてもらっていた資料を少しずつ見ていたのです。今回は最後ですからということで、一気に読み始めていましたら、途中でいやになってくるのです。説明するところが多すぎて。できるだけ少しでもと思って修正をしてお届けしたのですが、そういう意味ではこれから修正をして……。そこそこ手引書として使うところはいいのですが、まとめて勉強しようと1年間使うと、途中で疲れるような気がしましたので出させていただきました。

青木 冒頭申し上げましたように、その辺も加味させていただいて、策定させていただきたいと思っております。

委員長 文章をまとめていくことは大変なことになるかと思えます。また少しずつ訂正があるかもしれません。それは事務局でまとめていくということで、確認したらいいかなと思います。

皆様には昨年6月から本日まで8回にわたりまして熱心なご議論をいただきまして、まことにありがとうございました。本日は一定の報告案をまとめることができました。これも皆様方のご協力のおかげと深く感謝を申し上げます。

議長を仰せつかって立命館大学の代表という面もあってこの議長をさせていただきましたけれども、今後開学に向けて大学としても準備をさらに確実なものにしていきたいと思えます。今後、地域との関わりにつきまして、お集まりの皆様方にいろいろとご相談なり、お力添えなりを賜わることがあるかと思えますけれども、よろしく願いいたします。

市長もお見えですので、先ほど確認いたしました報告書を提出したいと思えます。事務局よりお願いいたします。

青木 それでは委員長の前の方をお願いいたします。

委員長 8回にわたって私たちの茨木市地域コミュニティ基本指針検討委員会で議論を積み重ねてまとめ上げてきたものになります。様々なご意見、思いがありましたけれども、一つのこうした結果としてまとめさせていただきました。どうかよろしく願いいたします。

野村 どうもありがとうございます。

青木 どうもありがとうございました。市長から一言ご挨拶を申し上げます。

野村 一言お礼のご挨拶を申し上げたいと存じます。委員の皆様方には昨年の6月から全8回にわたりまして、委員会におきまして熱心にご議論をいただきましてまことにありがとうございました。市内分権や、あるいは市民、行政が一体となって進めるまちづくりというのは是非とも進めていかなければならない大きな課題でもございます。本日いただきました報告書をもとに、庁内でも十分検討をさせていただきまして、多くの市民のよりどころになる指針にしていきたいと思います。

齋藤委員長をはじめ、委員の皆様方、あらためまして心からお礼を申し上げますとともに、今後とも市制の上にあたたかいご助言、お力添えを賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。ご挨拶にさせていただきます。

本当にありがとうございました。簡単ですが、ご挨拶とさせていただきます。

委員長 これで検討委員会を閉会させていただきたいと思います。皆様、本当にありがとうございました。